令和５年度　地域包括支援センター活動方針及び活動目標

	運営方針	年度目標
福井明倫 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるようにするため、医療･介護･住まい･介護予防･生活支援･認知症施策一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を図っていく。	①　高齢者の生活支援を行うため、自立支援・権利擁護・介護者支援の視点で地域の関係機関や医療・介護等支援関係機関とネットワーク構築を図り、見守り体制の強化をすすめる。 ②　個別の実態把握や地域の実情を踏まえ、地域の課題について地域住民、関係機関と情報を共有し対応策を検討する。 ③　介護予防の啓蒙啓発を図り、地域住民の健康や認知症に関する意識を高め、活動的な生活につなげる。
福井あたご 包括支援センター	地域の中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、関係者や関係機関と連携・協働し、高齢者を地域全体で支えるような地域づくりに参画していく。	１.地域の住民、関係機関、社会資源にアウトリーチし、ほやねっとあたごの周知、地域ネットワークの開発、連携強化を図っていく ２．支援の手が届いていない隠れたニーズを持つ高齢者の発見・把握に努める
福井中央北 包括支援センター	コロナ禍を抜けた新しい社会に向けて地域とのつながりを取り戻していく。	１．コロナ禍で変化した地域の実態を継続的に把握していきます。 ２．把握した情報を発信し、人と地域をつなげていきます。 ３．地域住民、各種団体、サービス事業所と社会資源の把握、地域づくりに向けた意見交換の場を持ち、新しい支援のネットワークを作ります。
福井不死鳥 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう関係機関や地域住民等との連携を深め、①地域住民が困った時に包括に相談できる体制づくり、②認知症の理解と見守り支援のための地域づくりを地域包括支援センターが中心となって行う。	１．様々な年代に包括を知ってもらうために周知活動を行う。 ２．誰もが地域の中で相談できるような仕組み作りと早期発見のためのネットワークを構築する。 ３．気になる高齢者チェックリストを用いて地域の中で実態が明らかになっていない高齢者を掘り起こし、実態把握を行う。 ４．民生委員と協力し支援を必要とする高齢者とその家族について情報収集し、支援と見守り体制を強化する。 ５．虐待・困難事例の対応を行い、高齢者の権利を擁護する。 ６．地域の関係者や介護サービス事業所等と連携して地域課題を検討するための会議を開催していく。
福井あずま 包括支援センター	住民が住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、地域の特性や課題を共有し、社会資源の連携体制を支えるネットワークの強化に取り組んでいく。 ・高齢者の状態やその変化に応じた医療や介護等の様々なサービスを切れ目なく提供できるように、医療機関や障害、介護保険等の関係機関や団体等とのネットワーク強化に取り組む。 ・介護支援専門員とサービス事業所が自立支援に基づいたケアを強化できるように働きかける。 ・認知症高齢者が安心して暮らせる地域となるよう、見守りや支える体制の構築に向け、認知症の理解と予防を推進する。	「地域住民の立場で考える」 ・高齢者が生きがいと尊厳を持ち、住み慣れた地域で暮らせるよう支援する。 ・専門性を活かし、職員相互が連携、協働しながら「チームアプローチ」を実践する。 ・公益的な機関として、公正で中立性の高い運営を行う。
福井大東 包括支援センター	高齢者が住み慣れたわが町・わが家で安心・安全にその人らしい生活を継続できるように、各職員の専門性と能力・個性を互いに尊重し活かす。また　地域の住民･各関係機関・地域の資源とつながりながら、「チーム大東」として丁寧に包括的に支援する。	・地域の実情と特性を掴むため、アウトリーチを進め、地域課題に対応した取り組みを各機関・地域住民と連携し行う。 ・住民にとってより身近で、親しみが持て、敷居を感じないで相談できるセンターとなるように、丁寧な接遇で対応、地域の求める情報発信の方法や広報・周知活動を工夫し、関係機関の協力も得て、隅々まで行う。 ・相談支援職として、スキルアップを図るために、自己課題を克服するための研修受講や日々の OJT と定期的な振り返りを行う。
福井九頭竜 包括支援センター	積極的に地域に出向き、自助力・互助力を高める取り組みを通して、高齢者及びその家族が安心して暮らせる地域を目指す。	・介護予防が必要な高齢者の掘り起こし及び把握を行い、早期対応に繋げる。 ・地域住民や各関係機関との連携を強化し、地域作りに取り組む。
福井北 包括支援センター	地域も含めた自助･互助の意識の向上を図り、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活の継続を目指す。	・家族支援への対応能力の向上。 ・住みやすいやさしい街づくりに向けた協働。 ・北極星の会・民生委員との連携強化。
福井みなみ 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるよう、チームアプローチを実践し、公益的な機関として公正で中立性の高い事業運営を行う。	１．新たな介護予防の場の創設に向けて関係機関との協働を図る。 ２．認知症の人やその家族が暮らしやすい地域づくりを目指す。 ３．地域課題の抽出や関係機関とのネットワーク構築を推進する。
福井社 包括支援センター	・高齢者やその家族、地域住民等がより相談しやすい包括支援センターとなる。 ・地域包括ケアシステムの中核機関として、地域住民・福祉団体や医療・介護等支援機関とネットワークを構築する。 ・全職員が互いに連携・協働しながらチームケアを実践する。	・社会的な孤立が発生しない地域の仕組みづくりに取り組む。 ・地域住民の生活実態を把握し、保健医療・福祉の両面から地域課題を把握する。
福井光 包括支援センター	圏域内の高齢者が、住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活を安心して継続できるよう、地域ごとの特性を把握しながら、その特性に応じた活動や支援を地域に偏りが出ないよう実施していく。	・高齢者の総合相談窓口としての機能を着実に向上し、地域ごとの特性を把握する。 ・圏域内の地域包括ネットワークの構築とその強化を図る。 ・自立支援・家族支援・権利擁護・介護予防・医療と介護の連携・認知症対応 等への理解の必要性やその普及啓発活動を実施していく。 ・包括支援センター職員としての資質・対応力の向上。
福井川西 包括支援センター	地域の特性に応じた地域ネットワークを構築し、高齢者の自立した生活を支える。	・医療と介護の連携を強化。 ・地域の特性や課題を地域住民と共有、地域の自助互助力を高める。 ・自立支援に基づいたケアマネジメント力を強化。
福井東足羽 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるよう、地域の住民、医療･介護等支援機関等と連携を図り、事業運営を行う。	・高齢者の総合相談窓口であることを広く周知する。 ・医療機関、介護サービス事業所、民生委員等様々な関係機関とのネットワークを強化する。